

### 背景・課題

#### 長期休み中の子どもの居場所をつくりたい

- ⇒長期休み中に子どもだけで過ごす核家族世帯が多い
- ⇒子どもと地域住民のふれあう機会が少ない

### 取組み

長期休みのうち1週間程度、公民館を中心に各団体がプログラムを準備し、小学生に体験活動や地域交流活動を提供する。

### 成果

- 1 地域ぐるみで子どもを育み、見守る意識の啓発
- 2 住民と子ども、親がつながる地域づくり
- 3 地区内の活動団体、企業、ボランティアのネットワーク構築

### 協働した団体

公民館・自治会・小学校・青少年育成会・食生活改善推進員会・婦人会・青少年社会生活支援団体Amazing！・薬局・企業・郵便局・市役所

### 今後の展開

- 1 子育て支援を軸にした地域福祉推進のネットワークづくり
- 2 地域活動者やボランティアの人材発掘、活躍の場の創出につなげる。



# 買い物困難者支援のための住民座談会（義方地区）

## 背景・課題

### スーパーが閉店して買い物に困っている

⇒高齢者世帯等、移動手段のない方は徒歩で行ける店舗が無い

## 取組み

閉店中のスーパー近隣の自治会、民生委員を中心に、買物困難者を支援する方法を考える座談会を開催した。

困っている世帯に、民間の配達サービスの情報提供や、乗り合わせて買い物に行くなど具体的な取組みが検討された。

## 成果

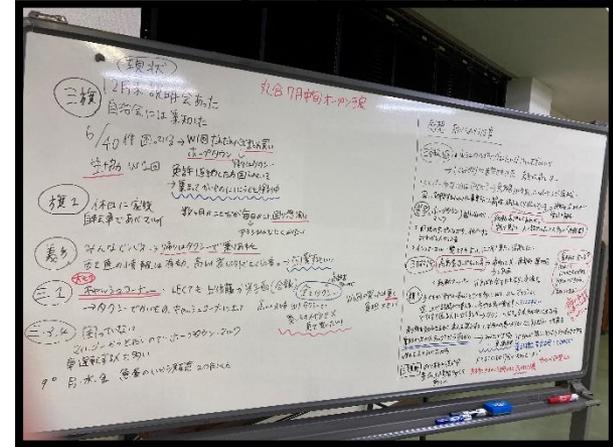
- 1 住民同士が地域の困りごとを話し合う場づくり
- 2 課題の解決に向けた具体的な取組みの提案
- 3 近隣の住民同士が助け合う意識の啓発

## 協働した団体

自治会、民生児童委員、地域住民、企業、地域包括支援センター

## 今後の展開

- 1 課題解決のための新たな地域活動の推進につなげる。
- 2 座談会をきっかけとした住民同士が助け合える関係づくり



# 小学生への福祉教育授業（義方地区）

## 背景・課題

子どもたちに「福祉」について知ってもらいたい

⇒幼少期から広く地域福祉を学ぶ機会を持ってほしい

⇒学校と地域、社協との協働した取組みを進めたい

## 取組み

小学校の「総合的な学習の時間」を活用し、社協職員が福祉教育出前授業を実施した。内容は、地域福祉、災害時の助け合い、車イス体験、高齢者支援、ユニバーサルデザインなど。

## 成果

- 1 子どもが広く福祉を学び、理解を深める機会
- 2 学校と社協との協働やつながり
- 3 新たな福祉学習メニューの検討、提案

## 協働した団体

小学校

## 今後の展開

- 1 住民や他団体とも協働する福祉教育プラットフォームづくり
- 2 福祉学習メニューの充実により、より広く福祉を学んでもらう機会の提供



# 子育て世代向けの防災勉強会（義方地区）

## 背景・課題

### 防災や災害時の避難について知りたい

⇒子育てサークルにて防災について不安があるとの声があがった

⇒核家族や転勤のある世帯では、地域防災、住民同士の助け合いが分からない

## 取組み

子育て世代を対象に「地域で学ぶ、あかちゃんとママの防災講座」を開催した。地元ショッピングセンターを会場に23名の参加があった。

## 成果

- 1 災害時の自助や共助について理解を深める機会
- 2 住民、企業、行政等による協働
- 3 子育て世代と地域とのネットワークづくり

## 協働した団体

子育てサークル、民生児童委員、地域住民、企業、防災安全課、健康対策課、鳥取県防災安全課

## 今後の展開

- 1 子育てサークルとのネットワークによる取組みの推進
- 2 防災を切り口にした地域福祉活動の推進、啓発



# 地域福祉についての住民アンケート調査（啓成地区）

## 背景・課題

### 住民が感じる福祉課題や必要と思う活動を把握する

⇒必要な地域活動に取り組むため、住民の意識を知ることが必要

⇒「福祉のまちづくりプラン」作成の参考とする

## 取組み

地区内の全自治会加入世帯に対して、地域福祉に関する住民の意識アンケート調査を実施した。自治会の協力により配布回収を行い、今後の住民活動の参考とする。

## 成果

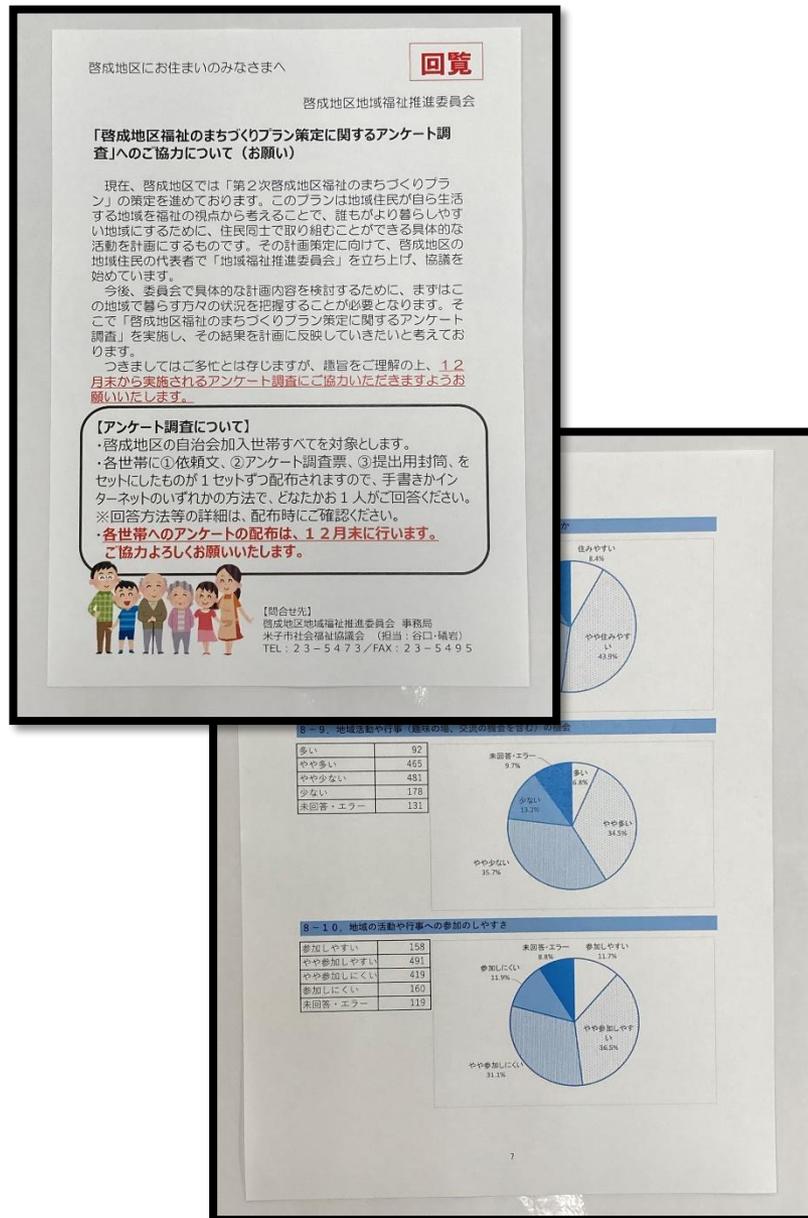
- 1 住民が感じている福祉課題の把握
- 2 「福祉のまちづくりプラン」作成の参考資料となった
- 3 アンケートを通じた住民への地域福祉の啓発

## 協働した団体

啓成地区地域福祉推進委員会、地区内の各活動団体

## 今後の展開

- 1 「福祉のまちづくりプラン」作成を通じて、課題解決のために必要な地域活動の検討を行う。
- 2 アンケート結果を地域活動の様々な場面で活用する。



# 福祉のまちづくりプラン作成（啓成地区）

## 背景・課題

### 住民同士が助け合う活動をもっと広めたい

- ⇒地域活動について住民同士の話し合う場が必要
- ⇒住民活動の計画を立てることで、協働の仕組みをつくる

## 取組み

啓成地区内の地域福祉に関わる住民や関係者が集まり、まちづくりプランを作成する。住民アンケート調査、委員会や分科会を実施し、福祉課題に対する具体的な活動を明らかにする。

## 成果

- 1 地域活動についての優先順位や目的を共有できる
- 2 プランづくりを通して住民同士のつながりや連帯が強くなる
- 3 プランにより段階的、継続的に活動に取り組むことができる

## 協働した団体

啓成地区地域活動11団体、介護事業所、保育園、小学校、医療機関、市役所

## 今後の展開

- 1 現在、分科会に分かれて協議を継続している。
- 2 プラン完成後は住民に広く周知し、活動の推進や啓発に活用する。プランの進捗管理ができる体制づくりを検討する。

